
開講科目名：知的財産法研究（A）（2単位）
開設年次：1年 2年
開設学部：法学研究科修士課程法学専攻
担当者：瀧 麻依子

《授業の概要》

（1）講義の概要

知的財産法は財産的情報の保護に関する法であるが、本講義ではその中から特許法・著作権法を中心に講義する。製薬や自動車から金融まで幅広い産業に関する特許法、レポートの作成・インターネットなど私たちの毎日の生活にも密接に関係する著作権法など、知的財産法は現代社会に重要な関わりを持っている。本講義では特許法や著作権法の基本的な理念や考え方について説明する。講義は授業計画表の通り進行する予定であるが、内容は必要に応じて変更することがある。

授業の進行は概ね以下の通りである。なお、内容は必要に応じて変更することがある。

- 1 知的財産法総論
- 2 特許法（1） 特許権の客体
- 3 特許法（2） 特許権の権利の主体
- 4 特許法（3） 権利取得の手續と審判・審決等取消訴訟
- 5 特許法（4） 特許権の効力I
- 6 特許法（5） 特許権の効力II
- 7 特許法（6） 救済
- 8 特許法（7） 特許法のまとめ
- 9 著作権法（1） 著作物性I
- 10 著作権法（2） 著作物性II・著作権の主体
- 11 著作権法（3） 著作者人格権
- 12 著作権法（4） 著作権I
- 13 著作権法（5） 著作権II
- 14 著作権法（6） 救済・著作権法全体のまとめ
- 15 前期のまとめ

（2）成績評価

講義への参加状況により総合的に評価する。

《テキスト》

レジュメを配布する。

上記の各法律が収録された六法を持参すること。なお、手持ちの六法に掲載されていない場合には、e-Gov（法令データ提供システム）や特許庁のサイト、その他インターネット上で最新の条文を入手することができる。それらをプリントアウトやダウンロードするなどして講義中はいつでも参照できるようにすることが望ましい。

《参考書》

愛知靖之・前田健・金子敏哉・青木大也『知的財産法』（有斐閣、2018年）
平嶋竜太・宮脇正晴・蘆立順美『入門知的財産法』（有斐閣、2020年3月改訂版刊行予定）
その他、それぞれの法律についての概説書等は講義の中で随時紹介する。